

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
中高英語科教育の充実に向けて		中高英語教諭	6H	講義・演習
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年8月22日(水)	50人	門田 守(奈良教育大学・教授) 米倉 陽子(奈良教育大学・准教授)		
会場				
奈良教育大学				
<b>【講習の概要】</b>				
日英対照教材等を用いて、アウトプットを増やした授業を構築する方法について実践的に考察する。ラフカディオ・ハーンの平易な作品を取り上げ、日英比較による創造的リーディングの可能性を探る。また、機能的構文論について、英語の動能構文、場所倒置文、分裂文等を取りあげて学ぶ。さまざまな英語アクティビティを疑似体験し、これからの英語教育を担う英語教員として何ができるのかを考える。				
<b>【小テーマ①】 パワーポイントを用いたコミュニケーション指導の実際</b>			1.5H	(担当講師:門田 守)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	教科書のリーディング教材をコミュニケーション活動に活かす方法を学ぶ。パワーポイントを用いた日英対照等を活用して、ペアワークの方法を演習する。その演習を通じて、アウトプットを増やした英語指導の実践方法を学ぶ。			
到達目標・確認指標	パワーポイントを用いた指導法を理解し、実際にコミュニケーション指導に活かせるようになること。			
キーワード	コミュニケーション, ペアワーク, パワーポイント, アウトプット, 日英対照			
<b>【小テーマ②】 ラフカディオ・ハーンの世界を用いた日英比較リーディング指導</b>			1.5H	(担当講師:門田 守)
講習形態	講義形式・演習形式			
講習内容	リーディングの効果的指導法について、ラフカディオ・ハーンの世界を取り上げて学ぶ。彼の英語の世界は、日本語の原話と大胆に異なっている。そうした違いの理由と効果を考察し、日英比較対照による創造的リーディングの可能性を探る。			
到達目標・確認指標	日英比較対照によるリーディングの実際について理解し、ハーンの世界の書き換えの意図を述べられること。			
キーワード	リーディング, ハーン, 原話, 日英比較, 書き換え			
<b>【小テーマ③】 機能的構文論から見た英語</b>			1.5H	(担当講師:米倉 陽子)
講習形態	講義形式			
講習内容	機能的構文論とは、構文の意味機能に着目する文法論である。英語の動能構文、場所倒置文、分裂文等を取りあげ、これらの構文がどのような意味機能を持つのか、実際の使用にはどのような制約がかかるのかを考察する。			
到達目標・確認指標	構文の意味や機能を重視する機能的構文論に触れることにより、文法知識を実際の言語使用の場に活かすための基礎的知識を習得する。			
キーワード	機能的制約, 動能構文, 場所倒置文, 分裂文			
<b>【小テーマ④】 英語の表現力を伸ばすために</b>			1.5H	(担当講師:米倉 陽子)
講習形態	演習形式			
講習内容	センター試験に代わる新テスト導入を前に、受講者全員がさまざまな英語アクティビティを疑似体験することで、これからの英語教育を担う英語教員として何ができるのかを考える。			
到達目標・確認指標	各アクティビティの狙いと期待される効果を理解すると同時に、その限界についても認識する。			
キーワード	語彙力, 表現力, ペアワーク, グループワーク			
試験方法	どの小テーマも、講習終了時に10分程度の筆記試験を行う。			
成績評価の方法・基準等	どの小テーマも、筆記試験(各25点)で成績評価する。合計100点のうち、60点以上を合格基準とする。			